

鶴見区地域福祉保健計画（鶴見・あいねっと） 区民アンケート調査結果がまとまりました！

令和8年度から始まる第5期鶴見区地域福祉保健計画（鶴見・あいねっと）の策定に先立ち、区民の皆さまの地域活動や福祉、保健などの身近なことへのお考えについてお伺いするために、区民アンケート調査を実施しました。

このたび、調査結果がまとまりましたのでご報告します。

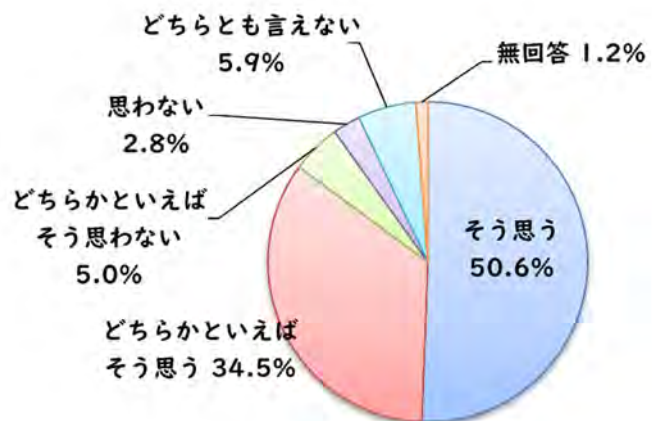
Ⅰ 調査結果の要点

○設問

「現在お住まいの地域に、
これからも住み続けたいと
思うか」

→ 「そう思う」・

「どちらかといえばそう思う」
人の合計は 8割半ば

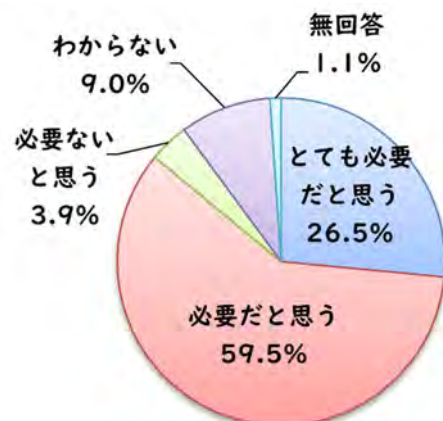


○設問

「災害時に地域での助け合いが
行われるためには、日頃から
地域で顔の見える関係が築けて
いることが必要だと思うか」

→ 「とても必要だと思う」・

「必要だと思う」
人の合計は 8割半ば



※主な調査結果は別添資料をご覧ください。

裏面あり



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



2 調査概要

調査対象	鶴見区に居住する満18歳以上の男女2,000人（うち外国籍区民100人） ※住民基本台帳による無作為抽出
調査方法	調査票を郵送、回答は郵送又はインターネット
調査期間	令和6年8月9日～9月11日
回収結果	800件（回収率：40.0%）
報告書	https://www.city.yokohama.lg.jp/tsurumi/kenko-iryō-fukushi/fukushi_kaigo/chiikifukushi/fukushi-plan/5ainet.html

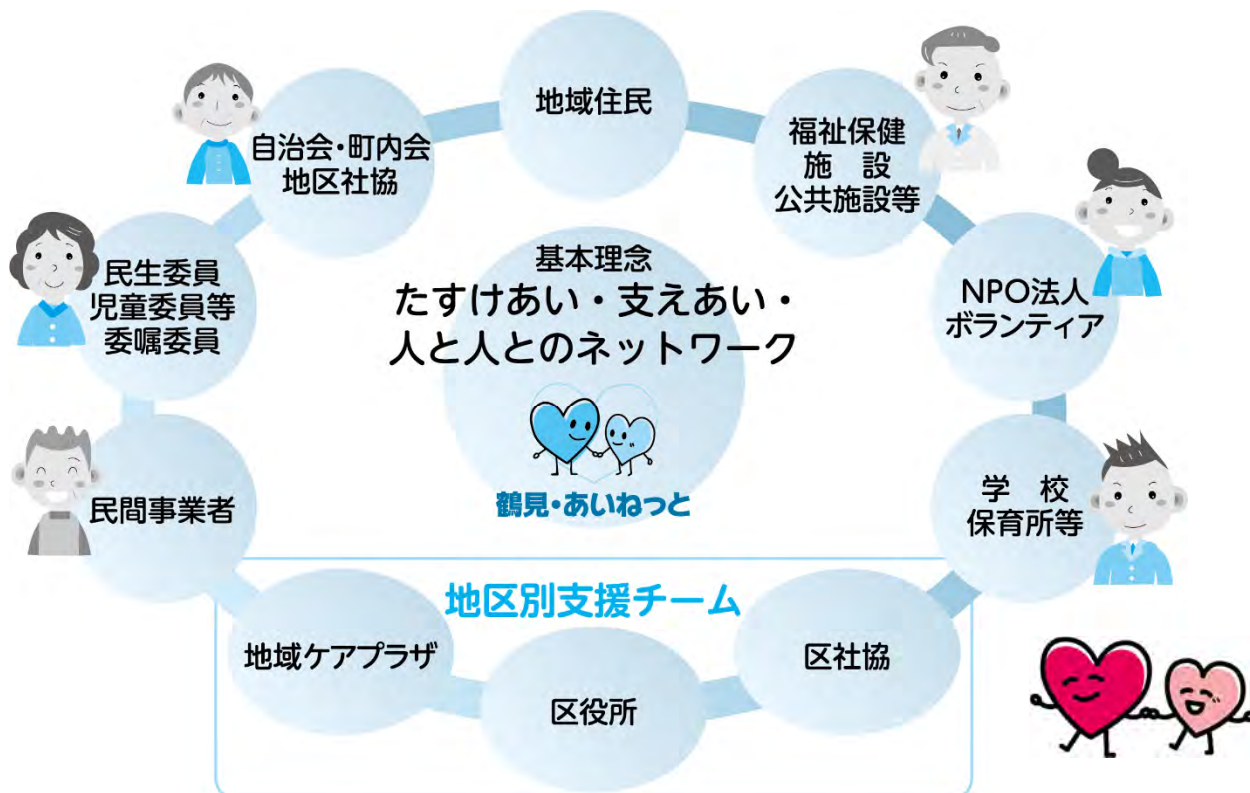


3 鶴見区地域福祉保健計画（鶴見・あいねっと）とは

地域福祉保健計画とは、誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域づくりを目指し、住民、事業者、公的機関（行政・社会福祉協議会・地域ケアプラザ等）が福祉保健などの地域の課題解決に協働して取り組み、身近な地域の支えあいの仕組みづくりを進めることを目的とした計画です。

鶴見区では、子どもも大人も、障害のある人も誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくりのために活動を「鶴見・あいねっと」と呼び、「たすけあい・支えあい・人と人とのネットワーク」を基本理念として、区民の皆さま、関係団体・機関、事業所等とともに取組を進めています。

令和8年度から令和12年度までが計画期間となる第5期「鶴見・あいねっと」の策定に向け、現在各地区においても話し合いが行われているところです。



お問合せ先		
鶴見区福祉保健課長	藤牧 武之	Tel 045-510-1790



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

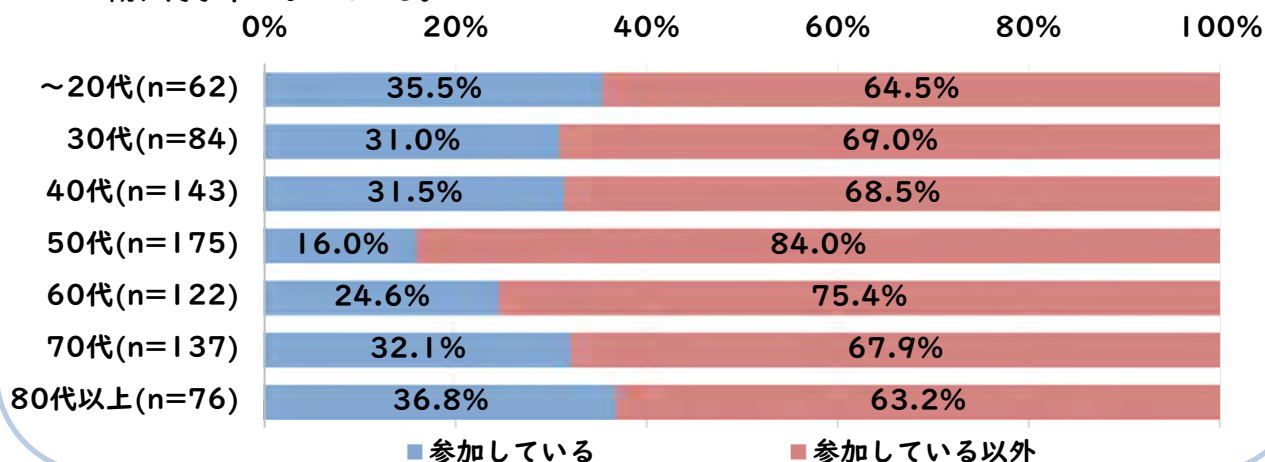
2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



■ 主な調査結果

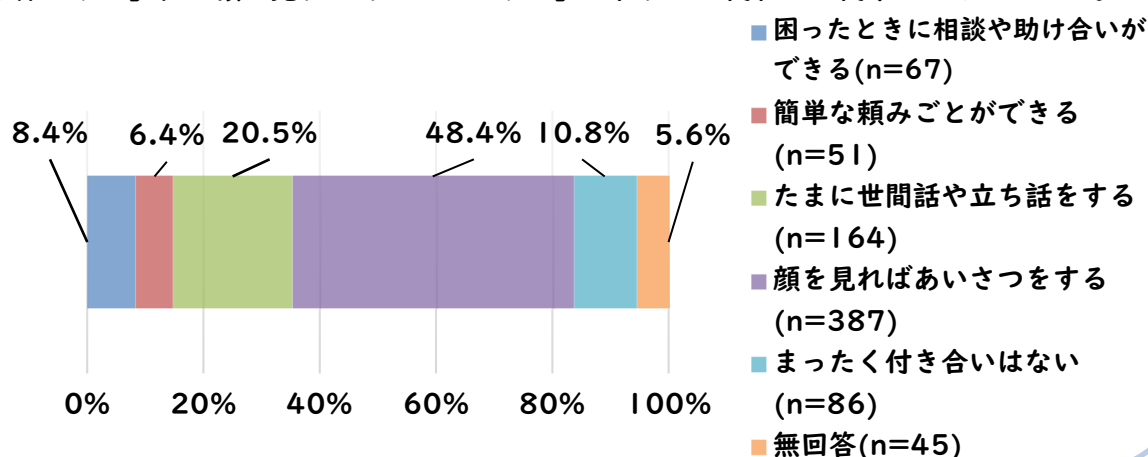
【年代ごとの「地域活動」への参加状況】

地域活動の参加については、50代が低くなっており、～20代や30代は70代、80代以上と概ね同水準となっている。



【日頃、近所の人との程度の付き合いをしていますか】

「困ったときに相談や助け合いができる」、「簡単な頼みごとができる」、「たまに世間話や立ち話をする」、「顔を見ればあいさつをする」を合わせた割合は8割半ばとなっている。



【新型コロナウイルス感染症の感染拡大前よりも一層大切と思うようになったことを教えてください】

約5割の人が「健康な心身の大切さ」を一層大切と思うようになったと回答した。

